

平成26年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立吉城高等学校

学校番号 60

I 自己評価

1 学校教育目標	1 自主性を重んじ、個性と能力を伸ばし、豊かな知性と創造性、実践力を育成する。 2 豊かな心の育成と健康・体力の増進を図る。 3 社会の一員としての責任と自覚を促し、たくましく生きる力を育成する。	
2 評価する領域・分野	◇教育課程，学習指導	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・授業での指導がわかりやすい先生が多いとの評価は、今後もこだわりたい部分である。 ・シラバスや評価に関する理解が昨年度より改善し、指導内容の定着が伺える ・学校職員の対応や学習指導について、保護者からの信頼度が高い水準で推移している。今後とも継続して努力していく事項と理解している。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	・授業評価を実施，分析して授業改善に努める。 ・公開授業，研究授業を計画的に行い，教科研究会を実施して指導力向上に努める。 ・習熟度別授業や進路希望別選択授業の充実。 ・初期指導，定着指導を徹底し，学習習慣を確立する。 ・学びなおしの機会を設定する。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・各学年会及び教科会と連携する。 ・公開授業や研究授業の積極的な実施。 ・教育課程委員会や学習指導委員会の運営。	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 本校の向かうべき方向性の共通理解 (2) 公開授業と研究授業の実施と分析 (3) 教育課程の検証と編成 (4) 情報発信の充実	(1) 授業評価 (2) 定期考査，課題テスト，模試等の統計 (3) 教育課程の充実と完成 (4) ウェブサイトの充実	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・研究授業や公開授業による指導力向上 ・授業評価による授業の点検と改善 ・初期指導による高校での学習活動の定着 ・各分掌における到達目標(マニフェスト)の設定と評価 ・各教科による新教育課程の検証及び評価	①授業は改善されたか ②家庭学習時間は増えたか ③個に応じた学力はついたか ④教育活動は円滑に行われているか ⑤生徒は満足しているか	A (B) C D A B (C) D A (B) C D (A) B C D (A) B C D
11 成果・課題	○研究授業や公開授業を行うことにより，授業改善への意識を高め，教員間での交流ができた。 ○初期指導，定着指導が定着し，生徒の充実した活動につながった。 ○教育課程をさらに検証，27年度へつなげることができた。 ●本校の取組が保護者には徐々に理解されているようであるが，外部に対してうまく伝わっていない状況があり，それがなかなか改善されていない。 ●中学校の本校希望者の数について，現状なかなか増加を見込めない状況にある。	
12 来年度に向けての改善方策案 新課程完全移行の年となるので，本校の教育課程について検証を進め，本校生徒の実態に即した，教育課程編成についてさらに研究を続ける。また，広報についても生徒の声が中学生やその保護者地域の方々に届くよう，そのような場の設定方法を考える。		

平成26年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立吉城高等学校

学校番号 60

I 自己評価

1 学校教育目標	1 自主性を重んじ、個性と能力を伸ばし、豊かな知性と創造性、実践力を育成する。 2 豊かな心の育成と健康・体力の増進を図る。 3 社会の一員としての責任と自覚を促し、たくましく生きる力を育成する。	
2 評価する領域・分野	◇ 生徒指導	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・生徒、保護者ともに肯定的意見の増加がみられた。少しずつではあるが、本校の指導が理解されてきていることを感じる。生徒の将来のため、保護者と共に生徒を指導してゆきたい。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇倫理観や規範意識、自他の人権と生命を尊重する態度を育てる。また、地域と一体となって生徒の健全育成を目指す。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・学年会や関係分掌と連絡を密にし、全職員で迅速に対応する。 ・MSや生徒会を中心に、地域の活動に積極的に参加させる。	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 「生徒指導の指針」「いじめ防止基本方針」をもとに指導の共通理解、共通行動を行う。 (2) 「生活規律、規範」への注意事項を具体的に提示し、その場で指摘、改善指導を行う。 (3) 地域の活動への参加の仕方を考えさせる。	(1) 問題行動やいじめがなかったか。 (2) 生徒の人権が尊重され安全、安心な学校生活を送れたか。 (3) 地域の活動に参加できたか。 (4) マニフェストの数値目標の達成。	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・日々の生活指導(登校指導、交通指導、巡回指導)の実施 ・生活、規範意識の高揚を図るための文書の配布や注意の呼びかけの実施。 ・MSリーダーズ、生徒会活動への援助を実施。	① 問題行動の状況や件数。 ② 生活習慣や規範意識が確立され安全、安心な生活を送ることができているか。 ③ 地域の活動に参加できたか。	A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>
11 成果・課題	○頭髪服装検査における違反者、遅刻者が減った。 ○携帯やスマホに関する大きな問題がなかった。 ●自律した身だしなみができていない。 ●自分の将来を考えた自己選択、決定ができない生徒がいる。	
12 来年度に向けての改善方策案 ・「交通ルールやマナー、情報モラル」を守ることの徹底を図るとともに、人権侵害行為の未然防止に努める。 ・生活委員の意識を高め、自ら問題意識を持って活動できるように指導する。 ・保護者や地域からの声を真摯に受け止め、迅速かつ丁寧に対応し、地域と共に生徒を育成する。		

平成26年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立吉城高等学校

学校番号 60

I 自己評価

1 学校教育目標	1 自主性を重んじ、個性と能力を伸ばし、豊かな知性と創造性、実践力を育成する。 2 豊かな心の育成と健康・体力の増進を図る。 3 社会の一員としての責任と自覚を促し、たくましく生きる力を育成する。	
2 評価する領域・分野	◇進路指導部	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・生徒は本校の進路指導を全体として肯定的に評価しているが、個々の可能性を引き出すよう適切な指導を求めている。 ・保護者も本校の進路指導を全体として肯定的に評価しているが、生徒の進路希望に沿った適切な指導を求めている。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇生徒が個々の適性・能力に応じて、生きがいをもって人生を歩めるライフプランニングができるようなキャリア教育を進める。 ◇生徒・保護者・職員にとって必要な進路情報の提供をさらに充実させる。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・進路指導部 ・渉外部及び各学年会との連携	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 進路指導計画に基づき、低学年の進路学習及び小論文学習の内容を検討する。 (2) 模試のデータ分析を各教科の指導に活かす工夫をする。	(1) 進路研究や小論文学習を通じて、各自の進路意識が深められたかどうか。 (2) 模試分析が教科指導等に活かされているかどうか。	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・3年生の面接・小論文指導を全職員による個別指導に加え、生徒自身によるグループでの面接練習の機会を設けた。 ・土曜に3年は代ゼミサテライン講座と補習(数・国・英)を実施し、また1、2年は月2回上位者に対し補習(数・英・国)を実施した。 ・1、2年対象に卒業生による社会人講話を実施した。	① できるだけ早い時期に進路目標を設定できたか。 ② 情報を分析して、自分の意見をまとめる力がついたか。 ③ 模試等の結果を分析し、教科指導等に活用できたか。	A <input checked="" type="checkbox"/> B C D A <input checked="" type="checkbox"/> B C D A B <input checked="" type="checkbox"/> C D
11 成果・課題	○全職員による3年生の面接・小論文指導が定着し。さらにグループによる面接練習を生徒自身が行うことで自信をもって臨めるようになった。 ○土曜に補習を行うことで、平日の部活動の時間を保障すると共に内容のある補習を実施することができた。 ●低学年での小論文指導における、いわゆるネタをどう定着させるか。 ●模試の結果分析を各教科でも行い、特に授業で活用する。	
12 来年度に向けての改善方策案 ・生徒の進路希望状況を踏まえて、地域及び行政と連携したキャリア教育を検討する。 ・低学年でのキャリア教育の充実(インターンシップ、卒業生による職業講話など) ・模試結果分析を授業で反映し、生徒にフィードバックする。		

平成26年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立吉城高等学校

学校番号 60

I 自己評価

1 学校教育目標	1 自主性を重んじ、個性と能力を伸ばし、豊かな知性と創造性、実践力を育成する。 2 豊かな心の育成と健康・体力の増進を図る。 3 社会の一員としての責任と自覚を促し、たくましく生きる力を育成する。
----------	--

2 評価する領域・分野	◇ 特別活動部
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会行事（球技大会・柏葉祭等）に充実感や達成感を味わっている。 ・部活動は多くの生徒が活発であると感じている。 ・保護者からも、上記のいずれも活発に活動しており、期待感を示している。 ・ボランティア活動では保護者への広報活動が十分とは言えない。
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇生徒会活動の活性化と生徒会行事の充実を図る。部活動に目的意識を持って、自主的・自発的に参加させることにより、部活動のより一層の活性化を図る。ボランティア活動の活性化を図る。
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・定例的に執行部会をもつなど生徒会執行部と特活職員の連携を密にする。 ・部顧問の適正な配置 ・特活部と他の分掌、担任との連携を密にする。

6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標
(1) 執行部会・生徒議会・各種委員会活動の活性化 広報活動の活性化 (2) 部活動の形態・内容・方法・環境整備等の援助 部紹介・壮行会・伝達表彰の実施	(1) 球技大会及び柏葉祭等の生徒会行事への取り組み状況 アンケートの実施とその結果分析 (2) 部活動予算及び備品請求の配分・部活動参加人数 入部状況・部活動実績・活動場所及び施設使用状況

8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会諸行事に向けて執行部会、生徒議会、体育委員会、文化委員会、柏葉祭実行委員会等の会議の開催と、広報活動による情報提供 ・部紹介、壮行会、伝達表彰の実施 部活動費及び備品費の適正配分と活動環境の整備 ・老人ホーム訪問など定期的なボランティア活動の実施、カンボジアの教育支援活動 	①生徒会活動を活性化させ、球技大会・柏葉祭等の諸行事に充実感や達成感を味わらせることができたか。 ②目的意識を持って、積極的に部活動に参加させることができたか。 ③ボランティア活動に主体的に取り組ませることができたか。	① (A) B C D ② (A) B C D ③ A (B) C D

11 成果・課題	○生徒会行事では、それぞれのねらいに応じた全校生徒の主体的な取り組みと協力体制により、その行事の成果に充実感や達成感を味わうことができた。 ○部活動では、年間を通し目的意識を持って積極的に参加することができた。全国大会出場や最優秀賞の受賞などめざましい活動があった。 ○ボランティア活動では、家庭クラブによる養護老人ホーム訪問、生徒会による募金活動や部活動やMSリーダーズなどによる清掃活動など積極的に取り組めた。 ●柏葉祭や球技大会などの諸行事での企画・運営等を一層充実させる手立ての検討 ●部活動での顧問の適正配置の検討	総合評価 A (B) C D
----------	--	-------------------

12 来年度に向けての改善方策案
○生徒会活動のより一層の活性化を図るとともに、生徒会行事を通して集団への所属感や生徒相互の連帯感及び好ましい人間関係を深めさせたい。また、生徒会行事における職員のより一層の共通理解を深めていきたい。 ○部活動を通して責任感や連帯感等の人間関係を形成するため、目的意識を持って自主的、自発的に部活動に参加できるように指導・援助をしたい。また、顧問の配置については、職員の理解を得ながらより適正な配置ができるようにしていきたい。

平成26年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立吉城高等学校

学校番号 60

I 自己評価

1 学校教育目標	1 自主性を重んじ、個性と能力を伸ばし、豊かな知性と創造性、実践力を育成する。 2 豊かな心の育成と健康・体力の増進を図る。 3 社会の一員としての責任と自覚を促し、たくましく生きる力を育成する。	
2 評価する領域・分野	◇環境美化・安全点検・防災	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・清掃活動においては昨年度より肯定的意見が増加した。本年度より昼掃除による全員掃除にしたことが意識向上に繋がったと考える。 ・健康管理については、養護教諭を中心として、各検診・検査の事後指導等生徒の健康管理面については常に配慮している。また、安全・衛生面では事務部との連携を図りながら、早めの対応に努めている。 ・非常変災時対応における緊急メール使用等による帰宅確認が定着してきた。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇各種検診の受診結果を把握、自己の健康管理ができるようにする。 ◇事故防止や安全管理に対する意識の高揚に努める。 ◇積極的な環境美化に努める（教室環境、トイレ清掃について）。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・学校保健委員会、安全衛生委員会 ・生徒保健委員会、環境委員会	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 各種検診の事後措置、健康相談 (2) 生徒対象の保健だより	(1) 検診後、精密検査等の再受診率 (2) 日本スポーツ振興センターへの災害報告等	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・生徒個人への受診勧告、健康相談、保健だより等での健康面の啓発活動。 ・職員・生徒への事故防止の周知徹底、体育授業時、部活動時における事前指導及び点検。 ・毎月1回、職員による施設等の安全点検、職員と生徒による教室環境衛生点検・トイレ環境衛生点検、生徒によるHIBINO点検(毎日)での教室環境への整備意識づけ。 ・環境委員によるゴミの分別収集、手作りのポスターによるトイレ使用マナーの励行。 ・健康面から考える「インターネット機器のマナーアップキャンペーン」の実施。	①生徒の健康管理 ②事故防止 ③安全管理、環境整備 ④防災	(A) B C D A (B) C D A (B) C D A (B) C D
11 成果・課題	○各種検診・検査については職員の協力や生徒の受診マナーについて学校医から高い評価を受けるなど年々良好になり、滞りなく実施できた。 ○保健委員によるトイレ点検・保健だよりの発行、環境委員と職員による環境衛生点検、ゴミ分別収集、トイレ使用マナーポスター掲示等により、環境美化に対する意識が向上してきた。また、本年度より生徒によるHIBINO点検を行うことにより、教室環境整備意識が高まった。 ●トイレの使用マナーまだ十分とは言えない。マナー教育が課題である。	
12 来年度に向けての改善方策案 ・生徒の健康管理や安全管理については、常時現状を把握し素早い対応で生徒、保護者に情報を流し、またインターネット機器使用についても健康面から考えた使用法を啓発するよう努めたい。 ・清掃に関しては、環境委員や保健委員の委員会活動を生かしながら、各掃除箇所の美化意識の高揚とトイレ使用マナーの徹底を呼びかけるなど、より一層の環境美化の推進に努めたい。		

平成26年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立吉城高等学校

学校番号 60

I 自己評価

1 学校教育目標	1 自主性を重んじ、個性と能力を伸ばし、豊かな知性と創造性、実践力を育成する。 2 豊かな心の育成と健康・体力の増進を図る。 3 社会の一員としての責任と自覚を促し、たくましく生きる力を育成する。	
2 評価する領域・分野	◇教育相談	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> 多様な生徒が入学し不適応生徒も多様化しているため、保護者や職員間の連携を図り、生徒の状況を正確に把握して対応する必要がある。 生徒への「悩みや相談事に親切に対応してくれる先生が多い」という項目では、肯定的な意見が69%で昨年度より8%増加し、また、保護者への「教職員は悩みを持つ生徒に対して親身に相談に乗っている」という項目でも、肯定的意見は76.4%で昨年度より10%近く増加し、今年度は生徒、保護者とも学校の相談体制について評価をかなり上げている。生徒や保護者において、教師が普段から相談相手として位置づけられており、また相談を受けた教師も親身に丁寧な対応をしているということがわかる。 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇日常的な相談活動と情報交換により生徒の状況把握に努め、関係者との連携を図って、高校生活への適応と自立への支援をする。 ◇人権同和教育を推進し、自他の人権を尊重する態度を育てる。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> 担任や学年会との連絡、連携 生徒指導部や保健室との定期的な情報交換、連携 職員会議での生徒に関する情報交換 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 学校不適応生徒に関する情報収集、情報交換による状況把握 (2) 関係者との連携と相談活動	(1) 情報交換が不断に行われているか。 (2) 生徒の状況を踏まえた適切な連携と相談活動が実施されているか。	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> 情報収集と情報交換（担任・学年会・生徒指導部会・保健室・職員会議等） hyper-QU、夏休み明けの統一LHRの実施 日常的な相談活動（気になる生徒への声かけ、生徒・保護者との面談等） 迷惑調査、人権統一LHRの実施、「人権便り」の発行 	① 情報交換による共通理解ができてきているか。 ② 学校不適応生徒や保護者への適切な相談活動ができたか。 ③ 人権意識を高め、人権侵害の早期発見・早期対応に努めているか。	A ② C D A B ③ D A ② C D
11 成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校不適応生徒に関する様々な場での情報収集と情報交換によって、職員間の共通理解が得られ、配慮を持った指導ができた。 ○ hyper-QUの実施と職員研修会、迷惑調査の集計結果報告、夏休み明けの統一LHR実施などを通して、生徒理解を深めることができた。 ● 学校不適応生徒の保護者との面談はしばしば行い、相談室登校の生徒との面談もできたが、全く登校しない生徒への対応はできなかった。教育相談部としてのコンタクトの取り方や専門機関との連携について検討したい。 	
12 来年度に向けての改善方策案 <ul style="list-style-type: none"> 不登校や発達障がいのある生徒に適切に対応するため、研修や専門機関との連携のあり方を検討する。 		

平成26年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立吉城高等学校

学校番号 60

I 自己評価

1 学校教育目標	1 自主性を重んじ、個性と能力を伸ばし、豊かな知性と創造性、実践力を育成する。 2 豊かな心の育成と健康・体力の増進を図る。 3 社会の一員としての責任と自覚を促し、たくましく生きる力を育成する。	
2 評価する領域・分野	◇図書部	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・学校行事の充実を望む声がある。 ・本に親しむ場の確保や読書の機会の充実が求められている。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇資料を効果的に利用し、読む力だけでなく、自ら考え問題提起のできる力の育成をめざす図書館 ◇豊かな読書生活を展望できる図書館。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・図書運営委員会 ・図書選定委員会 ・生徒図書委員会 ・図書部	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 朝読書の充実化。 (2) 「現代フォーラム」継続実施と「絵本の読み聞かせ」の活動。	(1) 読書に親しむきっかけづくり。 (2) 図書館の円滑な運営。 (3) 各行事の運営・内容の充実。	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・1、2年生対象の朝読書の期間延長。 ・図書資料管理のための「図書館システム」の導入。 ・現代フォーラムを2回実施。	①読書生活が豊かなものになったか。 ②利用しやすいように、資料の管理ができるようになるか。 ③生徒の考える力を伸ばすことができたか。	A (B) C D A (B) C D A (B) C D
11 成果・課題	○図書館の運営は、継続してスムーズに行えた。 ○「朝読書」を1、2学年で期間を延長して実施できた。 ○昨年度の図書館フェアの企画を発展させて、「絵本の読み聞かせ」を計画した。 ●現代フォーラム等のよりスムーズな運営が課題である。 ●担当生徒のより積極的な活動が望まれる。	
12 来年度に向けての改善方策案 ・朝読書の継続的発展。 ・現代フォーラムのあり方の検討。 ・「絵本の読み聞かせ」の継続実施。 ・行事運営の計画や準備を早めに取り組む。		

総合評価
A (B) C D

平成26年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立吉城高等学校

学校番号 60

I 自己評価

1 学校教育目標	1 自主性を重んじ、個性と能力を伸ばし、豊かな知性と創造性、実践力を育成する。 2 豊かな心の育成と健康・体力の増進を図る。 3 社会の一員としての責任と自覚を促し、たくましく生きる力を育成する。		
2 評価する領域・分野	◇ 育友会員との連携		
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・保護者も生徒も育友会の活動がよくわからないという意見が多い。		
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇育友会員に対して、育友会主催行事への積極的な参加と協力を促す。		
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・本部役員，学級委員の方々との連絡・連携を密にする。		
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
(1) 育友会主催の行事に対して、事前に関く役員会で綿密な計画を立て、円滑に運営する。 (2) 「文化祭のバザー」で、生徒と育友会員との交流を図る。 (3) 「大学等見学会」「進路フォーラム」に親子で参加し、交流を深める。	(1) 育友会員が意欲的に行事に参加できたか。 (2) バザーで育友会員と生徒が交流できたか。 (3) 参加者の数，および行事後のアンケート分析。		
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
育友会総会， 大学等見学会 登校指導， 面接指導， 文化祭のバザー， 育友会報，	①活動状況 ②行事の内容 ③行事の参加者数	A (B) C D (A) B C D A (B) C D	
11 成果・課題	○ 「吉高ニュース」の発行によって、地域の方々に本校の活動を知っていただくことができた。 ○ 「進路フォーラム」では、パネリスト（卒業生の保護者3名，5年前の卒業生3名）の方々の体験談を聞き、進路選択の参考になった。 ○ 「大学等見学会」は岐阜名古屋方面で、岐阜大学と名城大学を見学し、それぞれ有益な情報が得られた。 ○ 「文化祭のバザー」では、多くの育友会員の方々のご協力とご努力で好評だった。天気にも恵まれ、生徒の間の評判も大変良く、保護者と生徒の交流も含めて素晴らしい1日であった。 ○ 「面接指導」では、本番さながらの面接をすることができ、進路指導の一助となることができた。 ● 「進路フォーラム」や「大学等見学会」など、参加するとその素晴らしさが実感できる行事があるにも関わらず、それが伝わっていないようなので、育友会総会や文化祭などの保護者が学校へ来る機会をもっと有効に活用して、啓蒙宣伝活動に努める。		総合評価 A (B) C D
12 来年度に向けての改善方策案 ・保護者と生徒に向けて育友会行事の啓蒙・宣伝活動に努力する。			

平成26年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立吉城高等学校

学校番号 60

I 自己評価

1 学校教育目標	1 自主性を重んじ、個性と能力を伸ばし、豊かな知性と創造性、実践力を育成する。 2 豊かな心の育成と健康・体力の増進を図る。 3 社会の一員としての責任と自覚を促し、たくましく生きる力を育成する。	
2 評価する領域・分野	◇ 理数科	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・理数科に対する生徒・保護者の満足度は高い。 ・家庭学習時間は増えている。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇ 科学的、数学的な能力を高め、柔軟な思考力や新しい進歩を生み出す創造的な能力を育成する。 ◇ 自ら学び自ら考える力を育成する。 ◇ 広報の充実	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・理数科推進委員会 ・理数科会議	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 理数科の諸行事の効果的活用 (2) 家庭学習を中心に、学習に対する継続的な指導・援助を行い、学力の定着を図る。	(1) 諸行事への取り組み状況およびアンケート分析 (2) 家庭学習時間の確保・模擬試験の成績分析	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・1年生理数科オリエンテーションの実施 ・課題研究 ・校外研修の事前学習の実施 ・2、3年生合同LHRの実施	①科学的なことに興味関心が持ち、積極的に行事に取り組んだか。 ②学習に意欲的に取り組んでいるか。 ③理数科に入って良かったと感じているか。	(A) B C D A (B) C D A (B) C D
11 成果・課題	○課題研究については、本校理系の生徒および古川中学校の生徒への公開（2年目）ができた。また、内容も充実したものであった。 ○校外研修については、事前学習を継続し外部機関の協力もあり、充実がはかられた。 ●定員割れやそれに伴う従来とは若干異なる理数科の生徒が増加していることに対しては、有効な措置はとれていない。文系志望の理数科生徒への対策も必要である。 ●理数科の在り方についての考察が十分に出来ていない。行事をスムーズに進めて行く上での連携が上手く図られるように改善すべきである。	
12 来年度に向けての改善方策案 ・課題研究の単位導入に対する時間数の確保、評価、指導の在り方への取り組み。 ・課題研究において、プレゼン能力の向上を目指す。		

II 学校関係者評価

実施年月日：平成27年1月26日

【意見・要望・評価等】

- ・携帯電話やスマホの使用については、学校での指導も必要だが家庭で指導すべきことである。育友会からも注意喚起をしていきたい。
- ・吉城高校のイメージを、中学生はもちろん、中学生の保護者や先生方へもどんどんアピールするべきであり、その方法も工夫してほしい。
- ・運動会の復活や学校祭の一般公開を検討してはどうか。
- ・挨拶は、なかなか自発的にはしないが、大事だ。こちらから声をかけると返す。日頃からの指導が必要である。